

令和4年度小・中学校教育課程研究協議会における改善の重点等一覧

全体の改善の重点：単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元の指導計画作成による授業改善 ～GIGA スクール構想のもと、各教科等の目標や特質に応じた1人1台端末の活用をどのように進めるか～

	【小学校】		【中学校】
総則	① 学校の教育目標の実現に向け、カリキュラム・マネジメントの三つの側面を通して、教育課程に基づき組織的かつ計画的に学校の教育活動の質の向上を図っていくこと。 ② 編成した教育課程の実施に当たっては、GIGA スクール構想の下、各教科等の学習指導において ICT の特性・強みを生かした授業づくりを進めていくこと。	総則	① 学校の教育目標の実現に向け、カリキュラム・マネジメントの三つの側面を通して、教育課程に基づき組織的かつ計画的に学校の教育活動の質の向上を図っていくこと。 ② 編成した教育課程の実施に当たっては、GIGA スクール構想の下、各教科等の学習指導において ICT の特性・強みを生かした授業づくりを進めていくこと。
国語	① 単元で育成を目指す資質・能力を明確にするとともに、資質・能力を育成するための言語活動を位置付けた単元を構想すること。その際、主体的・対話的で深い学びを実現する授業改善を進める観点から、1人1台端末の活用が効果的な場面について検討し、積極的に取り入れること。 ② 適切な評価規準を設定し、資質・能力の定着を確認する学習評価とその方法を構想すること。また、支援を要する児童に対する適切な支援を行うこと。	国語	① 単元で育成を目指す資質・能力を明確にするとともに、資質・能力を育成するための言語活動を位置付けた単元を構想すること。その際、主体的・対話的で深い学びを実現する授業改善を進める観点から、1人1台端末の活用が効果的な場面について検討し、積極的に取り入れること。 ② 適切な評価規準を設定し、資質・能力の定着を確認する学習評価とその方法を構想すること。また、支援を要する生徒に対する支援を適切に設定すること。
社会	① 単元など内容や時間のまとまりを見通して学習課題を設定すること。 ② 社会的事象の見方・考え方を働かせ、諸資料や調査活動などで調べ、社会的事象の特色や相互の関連、意味を考えたり、社会への関わり方を選択・判断・表現したりする学習展開を工夫すること。その際、1人1台端末を積極的に活用すること。	社会	① 単元など内容や時間のまとまりを見通して学習課題を設定すること。 ② 社会的な見方・考え方を働かせ、諸資料や調査活動などを通して調べたり、思考・判断・表現したりする学習展開を工夫すること。その際、1人1台端末を積極的に活用すること。
算数	① 数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的な知識及び技能や数学的な思考力、判断力、表現力等を育成するための単元及び授業を構想すること。 ② 授業のねらいに則した評価規準及び評価方法を適切に設定すること。 ③ 資質・能力の育成に向けて、指導の効果を高めるための1人1台端末の活用を進めること。	数学	① 数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的な知識及び技能や数学的な思考力、判断力、表現力等を育成するための単元及び授業を構想すること。 ② 授業のねらいに則した評価規準及び評価方法を適切に設定すること。 ③ 資質・能力の育成に向けて、指導の効果を高めるための1人1台端末の活用を進めること。
理科	① 「理科の見方・考え方」を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどの問題解決の活動を通して、理科で育成を目指す資質・能力を育むための単元及び1単位時間の授業を構想すること。 ② 「観察、実験の代替」としてではなく、理科の学習の一層の充実を図るための有用な道具として ICT を位置付け、1人1台端末を活用する場面を適切に選択し、効果的に活用すること。	理科	① 「理科の見方・考え方」を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどの科学的に探究する学習活動を通して、理科で育成を目指す資質・能力を育むための単元及び1単位時間の授業を構想すること。 ② 「観察、実験の代替」としてではなく、理科の学習の一層の充実を図るための有用な道具として ICT を位置付け、1人1台端末を活用する場面を適切に選択し、効果的に活用すること。
生活	① 具体的な活動や体験を通して気付いたことを基に考えることができるようにするため、見付ける、比べる、たとえる、試す、見通す、工夫するなどの多様な学習活動を行うようにすること。 ② 単元のまとまりを見通して、1人1台端末などの情報機器について、その特質を踏まえ、児童の発達段階や特性及び生活科の特質などに応じて適切に活用するようにすること。		
音楽	① 児童が、音楽的な見方・考え方を働かせ、他者と協働しながら、思考、判断し、表現する一連の過程を大切に学習の充実を図ること。 ② 音楽科の特質に応じた言語活動を適切に設定すること。 ③ ①・②の実現に向けて、1人1台端末を効果的に活用すること。	音楽	① 生徒が、音楽的な見方・考え方を働かせ、他者と協働しながら、思考、判断し、表現する一連の過程を大切に学習の充実を図ること。 ② 音楽科の特質に応じた言語活動を適切に設定すること。 ③ ①・②の実現に向けて、1人1台端末を効果的に活用すること。
図画工作	① 題材における具体的な評価規準、指導事項などの整合性を図ること。 ② 児童の思いを大切にしながら、題材や時間のまとまりの中で児童同士に表したいことや感じ取ったこと等を交流させるなどして、発想や構想、見方や感じ方を広げることができる効果的な言語活動の充実を図ること。 ③ 実際にものに触れたり見たりすることが、図画工作科の資質・能力の育成において重要であることを踏まえ、1人1台端末の活用を進めること。	美術	① 題材における具体的な評価規準、指導事項などの整合性を図ること。 ② 題材や時間のまとまりの中で生徒同士に表したいことや感じ取ったこと等を交流させるなどして、発想や構想、見方や感じ方を広げることができる効果的な言語活動の充実を図ること。 ③ 実際にものに触れたり見たりすることが、美術科の資質・能力の育成において重要であることを踏まえ、1人1台端末の活用を進めること。
家庭	① 題材において働かせる「見方・考え方」及び育成する「資質・能力」を具体化した2学年間を見通した題材指導計画ならびに評価計画を作成すること。 ② 家庭科の指導のねらいを達成するため、1人1台端末を効果的に活用する場面を設定した授業づくりや指導の工夫をすること。	技術家庭	① 教科の目標の実現を目指し、教科（題材）の「見方・考え方」及び育成する「資質・能力」を具体的に示し、3学年間を見通した題材の指導計画並びに評価計画を作成すること。 ② 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善において、題材のまとまりの中で1人1台端末を効果的に活用する場面を設定した授業づくりや指導の工夫をすること。
体育	① 「ねらい」と「めあて」「課題」「活動」「まとめ」「振り返り」に一貫性のある授業を構想すること。 ② 体育科の特質に応じた学習が効果的に展開されるよう、単元など内容や時間のまとまりを見通した「指導と評価の計画」を構想すること。 ③ 3つの資質・能力をバランスよく育成するため、体育科の特質に応じて1人1台端末を積極的に活用すること。	保健体育	① 「ねらい」と「めあて」「課題」「活動」「まとめ」「振り返り」に一貫性のある授業を構想すること。 ② 保健体育科の特質に応じた学習が効果的に展開されるよう、単元など内容や時間のまとまりを見通した「指導と評価の計画」を構想すること。 ③ 3つの資質・能力をバランスよく育成するため、保健体育科の特質に応じて1人1台端末を積極的に活用すること。
外国語活動・ 外国語	① コミュニケーションの目的や場面、状況を明確にした言語活動の充実を図ること。 ② 1人1台端末を効果的に活用し、単元の指導計画作成や指導の工夫を行うこと。 ③ 具体的な評価規準及び評価方法を適切に設定し、指導と評価の一体化を図ること。	外国語	① コミュニケーションの目的や場面、状況を明確にした言語活動の充実を図ること。 ② 1人1台端末を効果的に活用し、単元の指導計画作成や指導の工夫を行うこと。 ③ 具体的な評価規準及び評価方法を適切に設定し、指導と評価の一体化を図ること。
道徳	① 何を考えさせたいのか教師の意図を明確にした中心発問（課題）を設定すること。また、中心発問に対して、2～3つの補助発問を準備すること。 ② 学習した内容に関わり、今の自分を振り返ったり、これからの課題や目標等を見付けたりする「振り返り」の場面を設定すること。 ③ 道徳科の特質を踏まえ、積極的かつ効果的に1人1台端末を活用すること。	道徳	① 何を考えさせたいのか教師の意図を明確にした中心発問（課題）を設定すること。また、中心発問に対して、2～3つの補助発問を準備すること。 ② 学習した内容に関わり、今の自分を振り返ったり、これからの課題や目標等を見付けたりする「振り返り」の場面を設定すること。 ③ 道徳科の特質を踏まえ、積極的かつ効果的に1人1台端末を活用すること。
総合	① 総合的な学習の時間を通してどのような資質・能力を育成するのか明確にすること。 ② 総合的な学習の時間と各教科等との積極的な関連を図りつつ、探究的な学習の過程（課題の設定、情報の収集、整理・分析、まとめ・表現）が発展的に繰り返されるようにすること。 ③ ICT の特性や強みを踏まえ、探究的な学習の各過程における学習の質を高めるよう、1人1台端末の積極的な活用を進めること。	総合	① 総合的な学習の時間を通してどのような資質・能力を育成するのか明確にすること。 ② 総合的な学習の時間と各教科等との積極的な関連を図りつつ、探究的な学習の過程（課題の設定、情報の収集、整理・分析、まとめ・表現）が発展的に繰り返されるようにすること。 ③ ICT の特性や強みを踏まえ、探究的な学習の各過程における学習の質を高めるよう、1人1台端末の積極的な活用を進めること。
特別活動	① 「指導と評価の一体化」を実現するため、各学校で定めた評価の観点に基づく「内容のまとまりごとの評価規準」に即して、1単位時間だけでなく事前から事後までの一連の学習過程を多面的・総合的に評価し、学級担任とそれ以外の教師とで連携すること。 ② 特別活動の学習の一層の充実を図るための有用な道具として ICT を位置付け、1人1台端末を活用する場面を適切に選択し、教師の丁寧な指導の下で効果的に活用すること。 ③ 特別活動をキャリア教育の要として、学校の教育活動全体を通してキャリア教育を行うとともに、児童が活動を記録し蓄積する教材等を活用すること。	特別活動	① 「指導と評価の一体化」を実現するため、各学校で定めた評価の観点に基づく「内容のまとまりごとの評価規準」に即して、1単位時間だけでなく事前から事後までの一連の学習過程を多面的・総合的に評価し、学級担任とそれ以外の教師とで連携すること。 ② 特別活動の学習の一層の充実を図るための有用な道具として ICT を位置付け、1人1台端末を活用する場面を適切に選択し、教師の丁寧な指導の下で効果的に活用すること。 ③ 特別活動をキャリア教育の要として、学校の教育活動全体を通してキャリア教育を行うとともに、生徒が活動を記録し蓄積する教材等を活用すること。
特別支援	① 特別な教育課程編成の基本的な考え方を踏まえ、特別支援学級の教育課程を編成すること。 ② 個別の指導計画、個別の教育支援計画の作成・活用をより一層推進すること。 ③ 情報活用能力（情報モラルを含む。）等の学習の基盤となる資質・能力を育成するため、1人1台端末の活用等指導方法の工夫を行うこと。	特別支援	① 特別な教育課程編成の基本的な考え方を踏まえ、特別支援学級の教育課程を編成すること。 ② 個別の指導計画、個別の教育支援計画の作成・活用をより一層推進すること。 ③ 情報活用能力（情報モラルを含む。）等の学習の基盤となる資質・能力を育成するため、1人1台端末の活用等指導方法の工夫を行うこと。